

# 宮代地区まち協通信

第117

発行日 令和 5年9月1日

2023年



南宮大社の“卯”

## 南宮大社の風鈴

撮影 福本 莞さん

## 南宮大社

南宮大社で風鈴の奉納が始まりました。神職らが飾りつけた550個の風鈴の爽やかな音色が、境内に涼感をもたらしています。

魔除けになるとされる風鈴と、伊吹山からの風で災いを払い、諸願成就を願うため実施されています。

9月18日まで



## 「伝統文化親子教室」宮代子どもお花教室

代表 中川 いづみ

子どもさんたちの「お花教室」を平成18年から始めて今年で18年目になります。国の文化庁が行う「次世代を担う子供たちに伝統文化を体験・修得する機会」という活動の中、宮代まちづくりセンターではお花教室を実施しております。

今年参加してくれている親御さんは、38名です。5月に小学校3年生の授業で「お花教室」をさせて頂きましたら、興味を持ってくださった子供さんたちがたくさん参加してくださいました。また、1年生のときから毎年継続して来てくれている子供さんもいます。同じ花を生けても人それぞれ、とても素敵な作品が出来上がります。

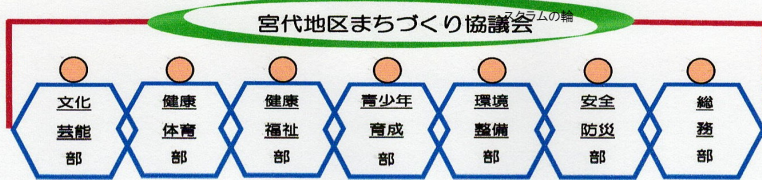
また、花器をペットボトルなどを再利用し手作りする時は、たくさんのアイデアを目にします。こちらが勉強になる事もあります。お花にも名前があり、姿・形・育ち方もさまざまです。それをよく見て楽しみながら作品を作っています。

これからもたくさんの人に参加していただき、それぞれの個性を活かしたお花を生けていただきたいと思います。



## 目次

- 「伝統文化親子教室」
- 行事予定（9月度）
- 「敬老の日」
- 活動報告 <7月・8月の活動>
- 文芸の広場 中山社 北野句会
- 宮代の人物シリーズ
- 編集後記



# 行事予定



※各種教室などには別途チラシや案内書、又は記載されていないサークル活動や団体活動等があります。詳細はまちづくりセンターまで問い合わせ下さい。

	事業名	日時	曜日	場所	備考
1	水墨画教室	1日・15日 19:00~21:00	金	まちセン 大会議室	会員募集中
2	水彩を楽しむ会	2日・16日 9:00~11:30	土	まちセン 小会議室	会員募集中
3	シニアはつらつ教室	4日 13:00~15:10	月	まちセン 大会議室	会員募集中
4	健康マージャンクラブ	4日・18日 13:00~16:30	月	まちセン 小会議室	会員募集中
5	絵手紙教室	10日・24日 13:00~15:00	日	まちセン 大会議室	会員募集中
6	「宮代の自然と歴史・文化を愛する会」作業部会	13日・27日 9:00~11:00	水	まちセン 実習室	
7	音（おと）楽（らく）倶楽部	14日・28日 10:00~12:00 13日・27日 18:30~21:00	木 水	まちセン 大会議室	水曜日のみ会員募集中
8	バレーボール連盟研修会	16日 12:00~17:00	土	まちセン 大会議室	
9	いきいきふれあいサロン役員会	20日 13:00~15:00	水	まちセン 大会議室	
10	伝統文化「こどもお花教室」	30日 9:30~11:30	土	まちセン 大会議室	

## 敬老の日



国民の祝日に関する法律では「多年にわたり社会につくしてきた老人を敬愛し、長寿を祝う日」と定められています。祖父母や両親、恩師など、人生の大先輩を敬い、感謝の気持ちとともに長寿をお祝いする日です。

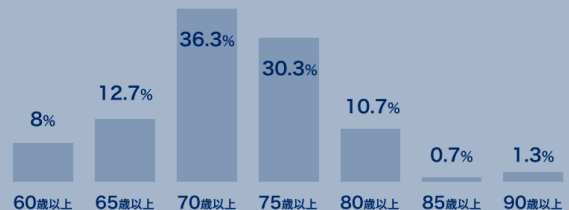
敬老の日が国民の祝日として制定されたのは、1966年（昭和41年）

のこと。2002年（平成14年）までは9月15日だったのが、ハッピーマンデー制度が取り入れられ、9月の第3月曜日に2003年（平成15年）から変更されました。ハッピーマンデー制度とは、祝日の一部を月曜日に移動させ、土日を含め3連休とし、余暇活動を拡大促進させようとしたものです。成人の日・スポーツの日・海の日もこの制度により変更されました。では、敬老の日のお祝いは何歳の人からするのが良いのか気になりませんか？

医療制度では65歳以上が高齢者ですし、道路交通法では70歳以上の免許更新者は高齢者講習が必要となります。人生100年時代の今、長く現役で働く人も多く、お年寄り扱いされたくないと思う人もいらっしゃいますので一概に線引きすることは難しいと思います。

家庭によっても事情はさまざま、例えば孫が生まれた、仕事をリタイヤしたことなどをきっかけに、敬老の日のお祝いをされては如何ですか。

何歳から敬老の日のお祝いされる対象だと思いますか？



# 活動報告



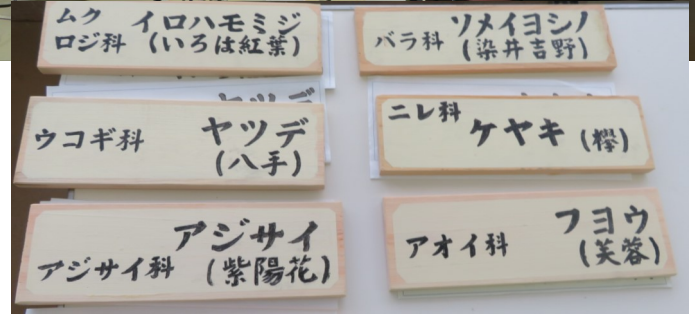
7/20~8/19

ふれあひこころ集こまつ  
明るく住みよいまちへ  
宮代地区まちづくり協議会

7月22日 ささえあい連絡会による「いきいきふれあいサロン」が開催され、今回は落語愛好者の方々が高座で得意の落語を披露されました。賑やかな笑い声が会場に響きました。次回のサロンでは手品の実演が行われる予定です。



8月9日「宮代の自然と歴史・文化を愛する会」の作業部会が開催され、宮代小学校の創立150周年記念の事業として、校庭にある樹木約70種類の木に取り付ける木の名前を書いたプレートを作る作業をされていました。



7月23日 8月11日に開催される「南宮登山大会」に向けて、宮代長寿会の有志の方が登山道の草刈りと、整備をされました。



8月11日 2年ぶりに「南宮登山大会」が開催され約80名の方が参加されました。午前5時に登山口を出発し、約1時間かけて山頂に到着。天気に恵まれ、山頂からは素晴らしい景色を見ることができました。下山したあとは、疲れはあるものの来年の再開を約束し、皆さん晴ればれとした表情で帰路につかれました。



南宮山頂

\*江戸切子 注ぐ酒ゆらぐ 団扇風  
川瀬 慶泉

\*すりおろす 夏大根の 辛味かな  
大羽 志風

\*病みて尚 夏衣まとう よろこびや  
傍島 法苑

\*水打てば 風の気配の おのづから  
三和 光子



## 宮代の人物シリーズ

「宮代の自然と歴史・文化を愛する会」 藤塚 久勝

人物シリーズ その三(3月)に掲載しましたが、真禅院の中川住職様から  
詳細な情報を頂きましたので再掲載します。

### 秀覚法印(しゅうかくほういん)

秀覚は、文政元年(1818年)五月五日、安八郡難波野村(現大垣市  
難波野町)大橋士蔵の次男として生まれた。

文政十一年(1828年)四月、真禅院において出家得度し、幕末の慶應  
四年(1868年)には南宮神社神宮寺の執行を務めていた。

慶應四年(1868年)三月に維新政府がだした、いわゆる神仏分離令の  
際には、同年閏四月十四日「離れた場所に真禅院を建立し仏像を安置  
し堂塔を片づける」との嘆願書を維新政府に提出したが承認されず、なか  
なか移転を行うことができずにいた。しかし秀覚の熱心な嘆願により明治二年  
(1869年)六月より、村人の奉仕によって南宮神社の寺院関係の二十二  
堂塔坊舎を統廃合し、明治四年(1871年)三月までに朱印地であったあつ  
朝倉の地(宮代2006番地)に移転した。

秀覚は、移転地の朝倉の地を山号にし「朝倉山真禅院」とし中興開山と  
なった。

明治十年(1877年)二月二十四日に没した。 行年58歳。



### <編集後記> ★「足るを知る」

高齢者は自分を老人とは思っていないものです。どこか昔の感覚が  
残っていて40代くらいと錯覚している人もいます。そんな時代ですが、  
昨今違和感を抱いているのが「人生楽しまない」という価値観です。  
人間は損得勘定で生きている訳ではありません。楽しまなければ人生  
がつまらない訳でもありません。毎日ただ普通に生きていることこそ有  
難く幸せな事だと思います。誰もがいわゆる「足るを知る」ことに思い  
至れば争いは無くなるのではないのでしょうか。

### 9月・10月の休館日(予定)

9月 5日(火)・12日(火)  
19日(月)・26日(火)  
10月 3日(火)・10日(火)  
17日(火)・24日(火)  
31日(火)

### 編集・発行

〒503-2124  
不破郡垂井町宮代664番地4 宮代地区まちづくりセンター  
TEL・FAX: 0584-22-1010



宮代地区まちづくり協議会 西川 一明

E-mail: miyashirokou@town.tarui.lg.jp



宮代まちづくりセンター西方の景色

紙面充実へ皆さまのご意見をお寄せ下さい